

目標達成計画

作成日: 平成 22年 8月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難、通報訓練は定期的に行っているが、地域や隣近所との協力体制を構築する事。さらに、夜間の避難の方法を具体的にどのようにすれば良いかが課題である。	町会や近所の方にも訓練に参加していただき協力していただける関係作りを目指す。	まずは9月の避難訓練に、町会の防犯部の方へ参加していただき、次回(平成23年3月)には近所の方への参加、協力をお願いする。	6ヶ月
2	6	身体拘束は行っていないが、グレーゾーンといわれる声のかけ方、ケアの仕方についてしっかりとした認識を持つ必要がある。	高齢者の権利擁護、共感的理解とはどういうことかについて学び、サービスの向上を図る。	勉強会を行う。権利擁護、高齢者とのコミュニケーションスキルについて。	3ヶ月
3	2	少しずつ、地域に溶け込んでいるが、地域の一人としての役割を果たすことが出来ていない。	グループホームてしろを知っていただき、地域の方が気軽に立ち寄り、相談に来られる場になれば良いと考える。	地域の行事(例えば子供祭り)にイベントを提供する側として参加させていただき、交流を図る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。